

a01000006a

0

0

<<入院診療計画書・退院療養計画書>>

腹腔鏡下で胆嚢摘出術を受ける患者さまへ

患者氏名	○	病名：	症状： なし	主治医	○	印	受け持ち看護師：
月日	1月0日	1月0日	1月1日	1月2日	1月4日		
項目	手術前日	手術前	手術後	術後1日目	術後2日目	退院日	
達成目標	手術について理解できる		創部の異常、腹痛や呼吸困難感などの合併症の症状、所見がない			日常生活について理解できる	
治療・薬剤 (内服)	- 採血があります - レントゲンがあります - 持参されたお薬とお薬手帳は、薬剤師が確認をするため、一時的にお預かりします - 許可が出たお薬は内服してください - 薬物治療について文書を用いて担当薬剤師が説明します	6時または9時に便を出すための座薬を挿入します - 点滴を開始します（経口補水液を飲んだ方と9時の手術の方は手術室で行います） - 指示されたお薬は朝（ ）時までに飲んでください	- 点滴や抗生剤を投与します - 指示のある間は酸素の投与を実施します - 静脈血栓予防のため足に器械をつけます	- 点滴があります - 採血とレントゲンがあります - 毎日回診で医師が創の診察を行います - 医師の指示のもと内服が再開されます	- 回診があります - 術後3日目に採血があります		
活動・安静度	制限はありません 	- 制限はありません - 肺炎予防のため歯磨きをしてください 	- 手術が終わってから3時間後までは、ベッド上安静となります - 手術後3時間後からは、看護師見守りでトイレ時と洗面時のみ離床ができます	- 看護師見守りのもと歩行していただき問題なければ、お一人で歩いていただいてもかまいません - 手術の際の消毒を落とすため簡単に看護師が体を拭きます	- 制限はありません - 管が入っていない場合はシャワー浴が可能です 	制限はありません 	
食事	- 夕食後から禁食です - 特別な栄養管理の必要性の 無	- 歯磨き、うがいはできます () 時までお水、お茶は飲めます。以降は禁飲食となります。	手術後は、禁飲食です 	- 朝の回診の後からお水、お茶は飲めます - 昼から五分食開始になります - 夕から全粥食が開始になります。	朝から常食（又は治療食）開始になります		
排泄	制限はありません 	制限はありません 	手術後3時間後までは、歩行できませんので、尿意、便意を催した場合は看護師へご相談ください	制限はありません	制限はありません		
患者様およびご家族への説明	- 入院、手術について説明します - 患者様確認のためにIDバンドを装着します - シャワーに入ってください - お臍の処置をさせていただきます - 爪が長い方は切り、マニキュア・ジェルネイル・スカルプネイルも落としてください - 経口補水液と術後に使用する寝巻き（浴衣タイプ）を準備してください	- 指輪・時計・めがね・コンタクト・義歯など金属類を外れるものは外してください - 手術室に行く前に血栓予防のストッキングを着用します	- 術後は看護師が適宜お伺いします - 何かありました遠慮なく申し出てください 	- 術後合併症予防のために早期離床を促させていただきます - 痛みがある場合は、看護師にご相談ください - 歩行ができれば足の器械を外します。病棟内の歩行が一人でできるようになったら、弾性ストッキングを脱いでかまいません	《退院後の生活について》 - 食事：制限はありませんが、飲酒は医師の指示があるまでは避けてください - 仕事、運動：お腹に力が入るような動作、激しい運動や自転車など次回外来まで避けてください - その後は、外来時にご相談ください - 入浴：手術後1週間はシャワーのみにしてください。それ以降は、創に問題がなければ入浴していただいてもかまいません - 今後は外来で定期的に経過をみます。 《以下の症状がある際は外来へ相談してください》 - 創の赤み、腫れ、膿がある 38℃以上の発熱がある - 持続する吐き気や腹痛がある 		

注1 場合によっては内容を変更することがあります

リハビリテーション・退院支援が必要な場合は、文書を用いて説明します

036006 2026.6.9

年 月 日 患者氏名

(代理人の場合) 代理人名

(続柄)